

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第43号 2006年12月

やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会
 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2
 ☎0465-85-1900 URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎週日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はありません。なお、2006年12月31日(日曜日)はお休みさせていただきます。

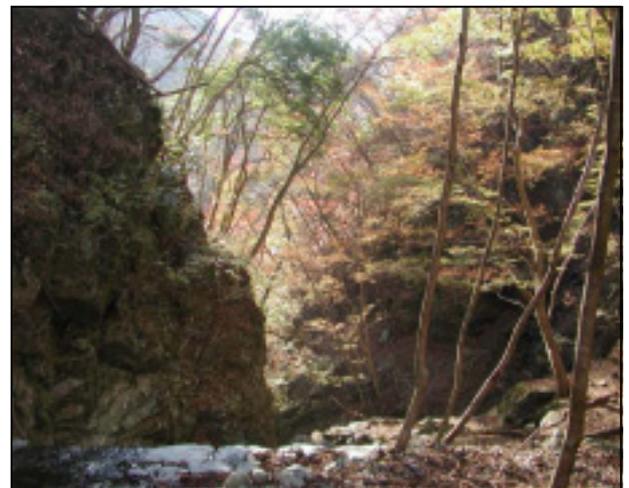
水源林を訪れるたび、新たな発見にわくわく！どきどき！



Bコースに現れた星空☆☆

人工林のこの場所は、もともと少し空間があった所。今年の秋、大風で2本の木の上部が隣の木に引っ掛かり、空間が星型に拡がりました。林内に空間が出来ると、林床に日が良く当たり、土の中で眠っていたり、新しく運ばれてきたりした日当たりを好む種子が発芽し、すくすくと成長します。写真の右側に棒のように写っているのは、こうして育てたホオノキの枝先です。

今回、空間が大きくなったことで、今後の植物の変化が楽しみです。



紅葉の時期、山は色とりどりのパッチワークのようです。この時期から春先までは、針葉樹と落葉広葉樹の区別がよくわかります。山の斜面のどんな所にどんな木があるか、そんな目で山を見るのも楽しいものです。右の写真は、葉が落ち始めて明るくなった後沢の広葉樹林帯。(12月6日)

やどりき水源林を歩いていると、森の仲間たちの様子が見えてきます☆☆



☆森の案内人動物班で、巣箱利用の確認と巣箱の補修をおこないました。



☆アカメガシワの黒い実は、鳥達のご馳走。



☆ヌルデの実に来たルリビタキ。雄は青とオレンジの色がきれい。

☆下の写真は、ぎっしり広葉樹の葉が入っていたヤマネ用巣箱。ネズミが利用していたと思われます。



☆ニホンジカに食べられた林道脇のタイアザミ。けなげに1輪咲いていました。(12月6日)



☆Bコースで会ったニホンジカ。3頭いました。最近Bコースで見かけるシカは、この子達でしょうか。(12月6日)



☆森林内にアカゲラの羽根が散乱していました。犯人は誰?



☆苔と小枝で作られた鳥の巣。上の枝から落ちた様。落葉で、隠れていた巣が現れます。



☆野生動物のヘアトラップ。茨線に引っ掛かった毛を調べるのだそうです。バケツの中には蜂蜜が。

今月のトピックス

・この12月16日に山の神の鳥居を新しく建立し、17日にお払いをする予定です。右の写真は、建替え前の鳥居の様子です。



来月の見所

- ・薄っすら積もった雪の上に、森の仲間達の足跡が残ります。どんなドラマがあったのか、想像してみましよう。
- ・冬鳥が来ています。林道では、ジョウビタキ、ルリビタキなどに会えます。カラ類の混群は、この時期の常連さんです。
- ・木々の冬芽の表情を観察できます。